

クラック抑制シール

加熱クラックシール材 / スーパーフレックス



箱 / 13.6kg



スーパーフレックスは柔軟性と接着力に優れています

スーパーショットメルター 60 施工能力 1時間 / 約 150 ㍎ / 約 500m

基層クラックシールはクラック抑制シートの代わりにコスト削減とクラック抑制シートの産廃問題を解決します。

SUPER SHOT MELTER 60

■ シール材注入機

容量	約 230 ㍎
重量	約 1500kg



■ スーパーフレックス性能一覧表

加熱型目地シール材 (高弾性タイプ)		
試験項目	規格値	備考
針入度試験 (A102)	9mm 以下	舗装設計施工指針
引張試験 (A102)	10mm 以上	舗装設計施工指針
流動試験 (A102)	3mm 以下	舗装設計施工指針
弾性試験 (A102)	初期貫入量 0.5~1.5mm 復元率 60% 以上	舗装設計施工指針

クラックシール材			
評価する性能	試験項目	試験結果	備考
割れ抵抗性	応力緩和下限温度	-21℃以上	舗装設計施工要綱 (首都圏道路株式会社)
剥がれ抵抗性	破壊回数	5.93 万回	舗装設計施工要綱 (首都圏道路株式会社)

標準仕様		
路面温度	-10℃~70℃	クラックカットシール施工の場合
路面温度	-28℃~70℃	クラックシール施工の場合
加熱安定温度	204℃	
作業加熱範囲	193℃~204℃	
交通解放時間	30分	



施工サポート致します。

使用指針

路面温度適用範囲

- 使用に適している
- 使用にお勧めできる
- 効力発揮できる限界
- 使用にお勧めできない

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16					
-22					
-28					
-34					

クラックカットシール施工時の舗装温度

℃	58	64	70	76	82
-4					
-10					
-16					
-22					
-28					
-34					

クラックシール施工時の舗装温度



■クラック抑制シール

診断区分3（修繕段階）で切削オーバーレイをおこなう際にクラック抑制シートを貼付ける工法が入っている場合、シートは産業廃棄物になるため、代替としましてクラック抑制シールは有効とされる工法です。

■クラック抑制シールイメージ断面図



■クラック抑制シール施工手順



1 乾燥工

目地部が少し濡れている場合
しっかりと乾燥させる



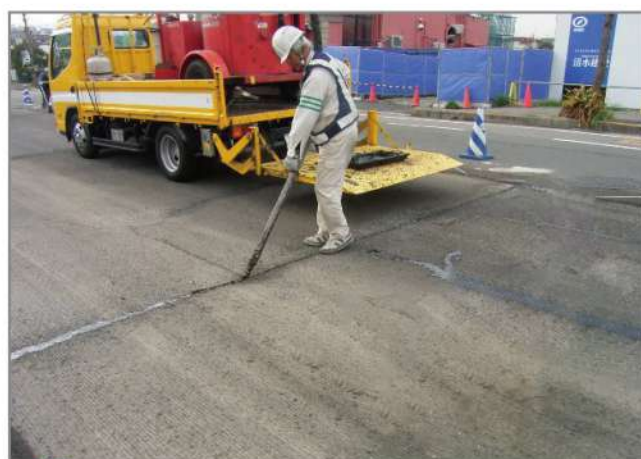
2 清掃工

ビリーゴートでしっかり
目地掃除をおこなう



3 清掃工

ブロワーなどでしっかりと
掃くこと



4 シール材充填

専用溶解釜で193℃~204℃
に溶解し、目地部に充填する